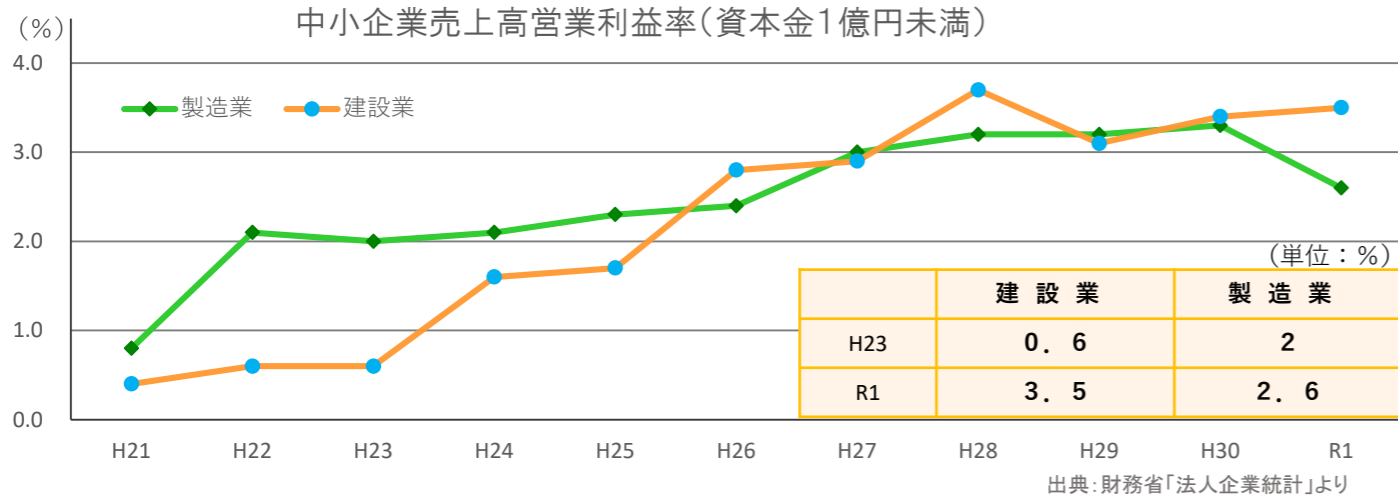
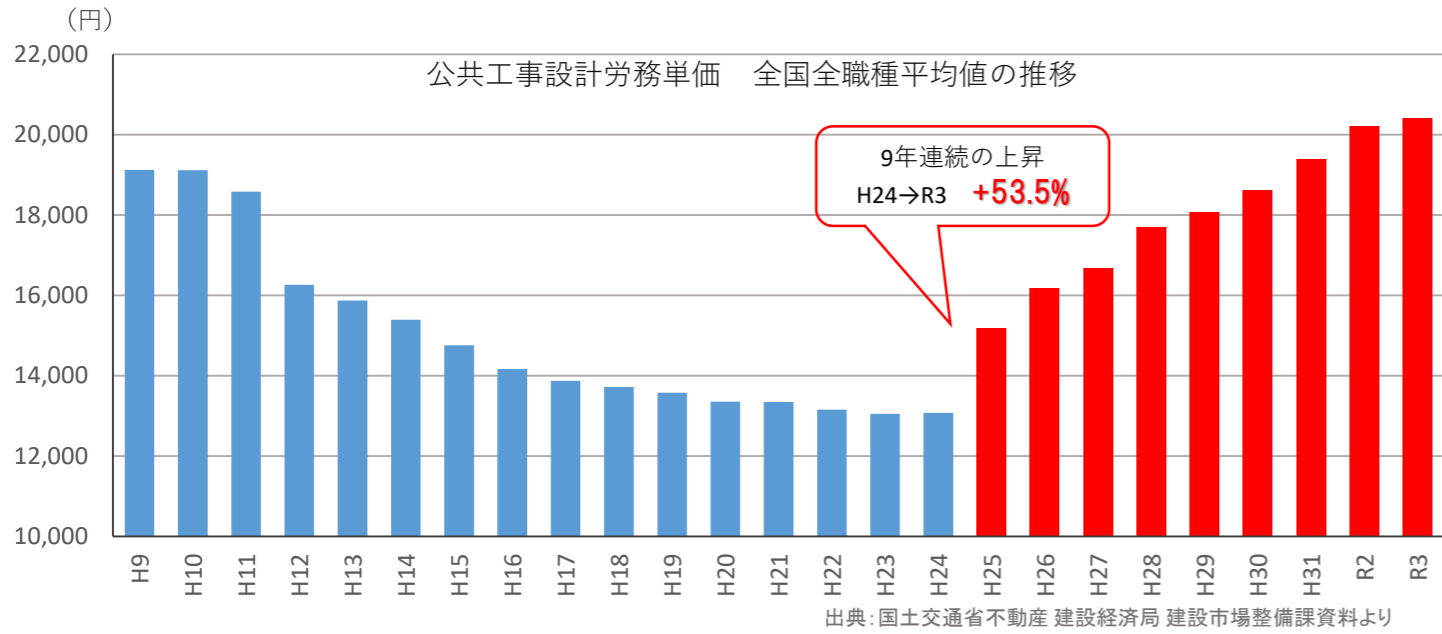


[建設産業の質の改善・新3Kに向けて分配の充実]

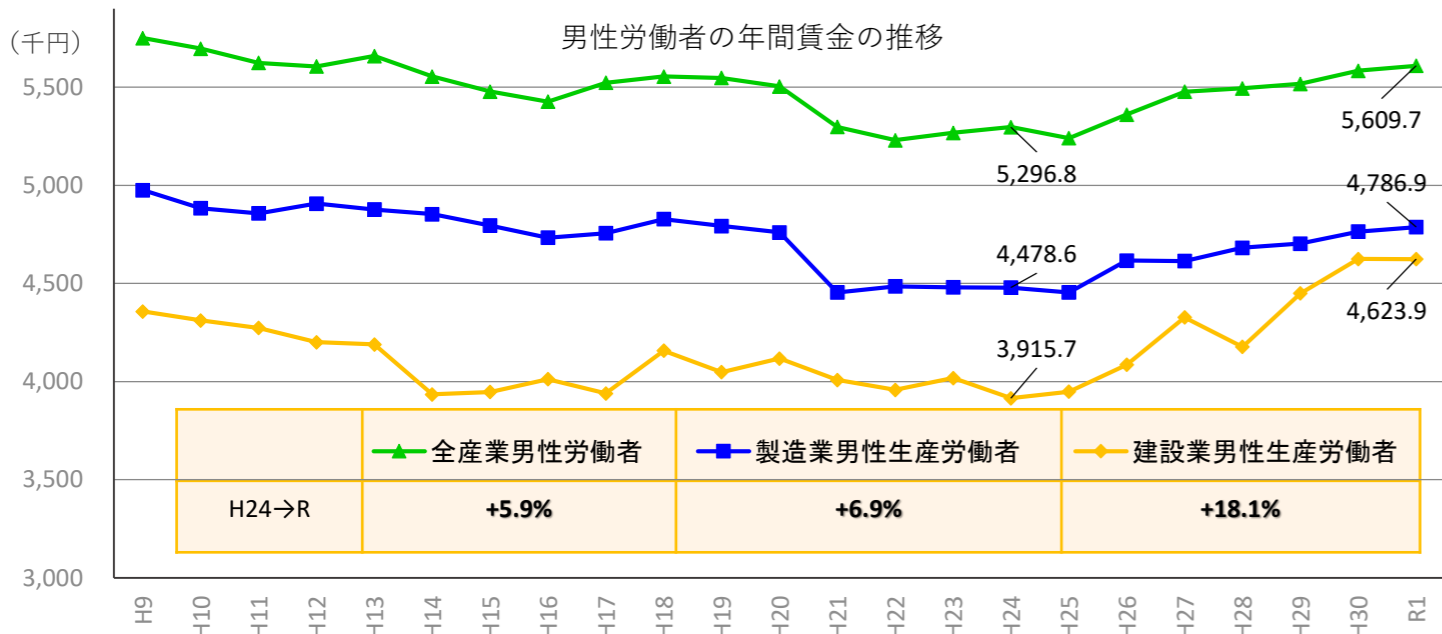
建設産業は赤字続きだったが24年度(自公政権で補正)以降若干改善



設計労務単価を上げた



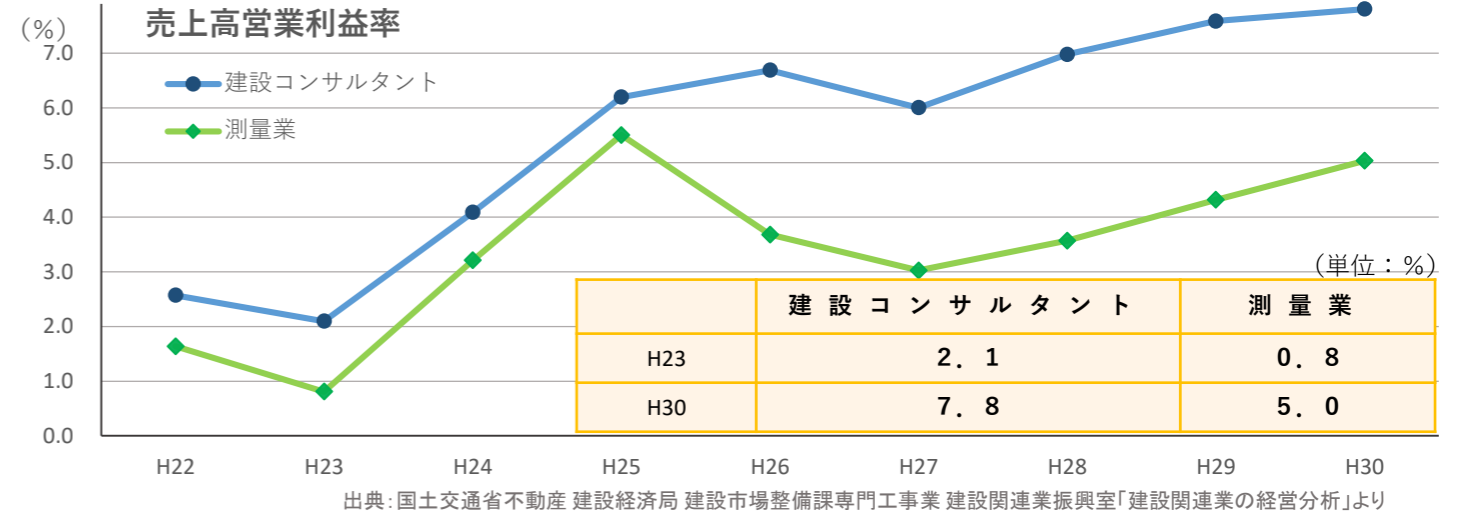
従業者賃金も上昇



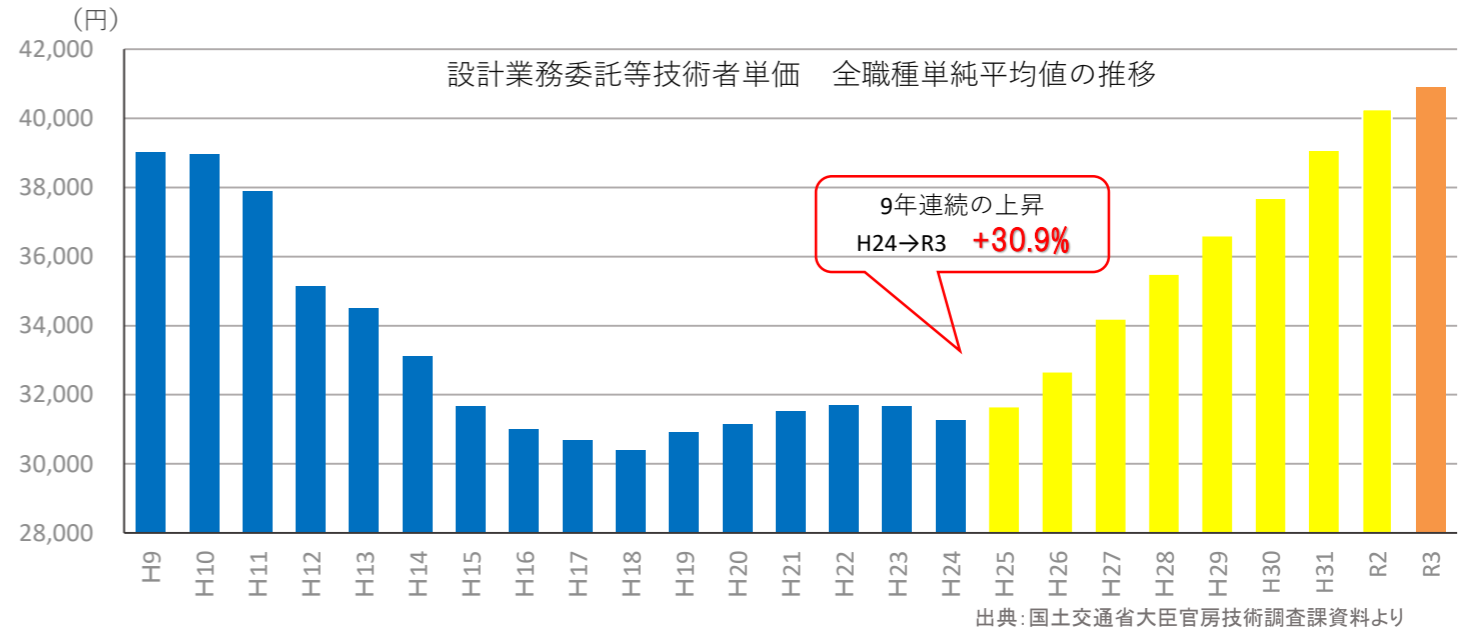
(資料)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(10人以上の常用労働者を雇用する事業所)
※年間賃金総支給額=きまって支給する現金給与額×12+年間賞与その他特別給与額

[設計業の質の改善・新3Kに向けて分配の充実]

設計業は殆ど利益が無かったが24年度(自公政権で補正)以降若干改善



技術者単価を上げた



低入札調査基準を上げた

	自公政権				民主党政権				自公政権						
	18以前	⑲	20	21	22	23	24	⑳	26	27	28	29	30	R1	R2
工事	74%程度	→	↗	↗	→	↗86%	→	↗	→	→	↗	↗90%	→	↗92%まで	→
測量	無し	73.5%程度	→	→	↗77.3%	→	→	→	→	→	↗	↗80%まで	→	↗82%まで	→
コンサル	無し	72.5%程度	→	→	↗	↗74.5%	→	→	→	→	↗	↗80%まで	→	→	→
地質	無し	83.2%程度	→	→	↗82.7%	→	→	→	→	→	↗84%	→	→	↗85%まで	→

工事は7回上げ、測量コンサルは5回、地質は4回上げた。